

奈良の丘だより

横浜市立奈良の丘小学校

学校教育目標

2月号

笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘

- 自ら考え、進んで行動する子を育てます
- 互いに認め合い、高め合う子を育てます
- たくましく、共に生きる子を育てます

更新中

<http://www-local.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/naranooka/>

「だれもが“笑顔いっぱい”“チャレンジいっぱい”な学校に」

教務主任 久保井 慶一

厳しい寒さの気候が続き、朝晩の冷え込みが大変厳しいですが、いかがお過ごしでしょうか。体調管理がとても難しいと思われませんが、皆様方もくれぐれも健康にご留意ください。学校の方も、学級閉鎖に至るまではいかないものの、年度末から出ているインフルエンザでの欠席児童が、以前継続している状態です。今後も「手洗い・うがい・マスク着用」をこどもたちに徹底して、感染が拡大しないようにしていきます。ご家庭の方でもご協力のほど、よろしくお祈りします。

さて、今年度も残すところ2か月となりました。本校の教育目標は、学校便りのタイトルにもあるように「笑顔いっぱい チャレンジいっぱい 奈良の丘」。「自ら考え、進んで行動する」「互いに認め合い、高め合う」「たくましく、共に生きる」、そんなこどもたちの姿の実現を目指し、この一年、職員全員一丸となり、日々の教育活動に取り組んできました。

今年度は、学年・学校として、これまでになかった新たな行事・活動をいくつも行いました。特に力を入れたのは、地域とのつながりを教育活動に活かすこと。これまでも全校遠足等で行っていた「こどもの国」との関わり方を見直し、実態に応じて、新たな活動・学習を取り入れた学年があります。また、2年生が、特別養護老人ホーム「わかたけ青葉」を訪問し、利用者や職員の方々との交流を行い、学習へとつなげました。それ以外にも、児童の実態に応じて、学年ごとに新たな学習課題を考え、取り組みました。

一方で、教育的効果を鑑みて、やり方を変えたり、場合によってはなくしたりしたものもあります。子どもたちにとっても、我々教職員にとっても、時間や物理的環境は“有限”です。あれもこれもと手を出しすぎると、結局処理しきれなくなってしまう。教育活動においても、「足し算していったはずの答えがマイナスになってしまう」ような状況に陥ることは避けなければなりません。なんとなくこれまでやっていたからこれからも続ける、という判断で本当にいいのか。「なんのためにやっているのか」を明確に意識すること。そして、「どんな成果があったのか」をしっかり検証すること。こうした視点のもとに、優先順位を考え、必要だと判断した学習・活動を実践に移すことが必要です。

子どもたちが学校で、毎日楽しく、元気に過ごしてくれること。それと同時に、我々教職員も、いきいきと学校で過ごせること。どちらも大切だと感じます。今年度の様々な取組を振り返り、次年度へとつなげられるよう、校内での検討をすでに始めています。これからも、保護者の皆様のご協力を仰ぎながら、取り組んでいきます。今後とも、本校の教育活動にご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。